

いかといふやうな事もいはれて居ります。それで研究の爲めの場合によつては幼稚園出身の一學級を組織して進歩の出來たものはさせて見るのも一つの試験になりはせぬかと考へられます。とりとめもなくさまざまの事を申上りましたが萬

## 幼稚園教育雜感

(フレーザー會總會に於ける演説)

東京音樂學校々長 湯原元一

題しました通り私は雜感を申上げて見たいと思ひます。

我が國の幼稚園教育はよほど進んで居るので御座います。此事は日本で自稱して居るのみならず歐米の各國に於てもすでに之を認めて居るので御座います。

しかし、更に幼稚園の任務及び將來の運命といふやうな事について一考して見ると、まだなかなか大問題が残つて居るやうに思はれます。

一將來御研究の御參考にもならば後に爲と存じます。

終にも一つ希望いたしたいのは、全國幼稚園關係者合同の一つの會合を持つて互に相琢磨いたしたい事で御座います。(筆記、文責在編者)

なるほど幼稚園はたしかに結構なもの、自分たちの子供も幼稚園の御蔭を蒙つてよほど成績がよいのでありますが、さて此結果のよい幼稚園教育をどの範圍まで擴めてゆくか、どうせよいものならば小學校の如く公費を以てあらゆる方面に擴張して、いづれの家庭に於ても其幼児を入園させる事にしてはどうであらうかと考へると、之には大分問題があるので御座います。まづ經濟問題がさきに立つて來ます。今日の小學校の義務教育だけ

できへも、大分困つて居るといふ貧民が少なくな  
い、六年を八年にしたいといふ計畫をさへも行は  
れかねて居る有様であります。然るに此上になほ  
幼稚園へ義務的に入れさせやうと云ふ事は到底出  
來がない事のやうに思はれる。

今一つ此事の行はれたい事情がある、それは  
家庭の問題であります。現今女子教育の目的は良  
妻賢母となつて居る、その良妻としても賢母とし  
ても最大切な務めは子供を教育するといふ事であ  
ります。それを絶體的に子供を幼稚園に入れなけ  
ればならぬとなると、幼稚園で賢母の仕事を取り  
あげるやう事になりはしまいか、少くとも半以上  
家庭の仕事を減じる結果になりはせぬかと思はれ  
ます。

勿論幼稚園は、家庭の仕事を奪ひ取る爲めにな  
く、之を補充しやうといふ主張のもとに設立せら  
れて居るのですが、實際は幼稚園に入れると、家  
庭の方で油断して一切任せてしまつたといふやう

な氣になりはしまいかと、思はれるので御座いま  
す。

それで文部省の方でも、幼稚園はあつて差支な  
いが、小學校と同じやうに義務教育にしやうとす  
るつもりはないのであります。しかし、幼稚園の  
効蹟が著しいといふ事を認めた以上、此始末をど  
うするかといふ事は、さしせまつてどうといふで  
はないが、長い間には教育家が考へなければなら  
ぬ問題であらうと思ひます。

今日の日本の幼稚園は中流以上の子女でなけれ  
ばは入る事が出来ないやうである、中流以上でも  
よほどいゝ處でないといけないやうである、なほ  
此ことをよく考へて見ると、中等以上の家庭では  
大體から云つて、主婦たるものに育児の心得も相  
當にあり、かつ時間に餘裕があつて、子供を教育  
するのによほど都合がよいわけである。而して中  
流以下幼稚園へゆく事の出来ない子供の方は、母  
親に何等の教育もなく朝から晩まで勞働に追はれ

て居て、家庭教育の補充どころではない、全部を引き受けてやらなければならぬやうな有様にあるのでございます。幼稚園の力をかりなくとも、どうか家庭教育を受ける事の出来る家庭の子供ばかりから幼稚園が成立つて、必ず幼稚園教育を受ける必要のある子供がますます、野良育ちとなるといふ事は誠に憂ふべき現象ではありませんまいか。それでは中流以上の子供はいやが上によくなる、以下の子供はいやが上にわるくなるといふ不公平が行はれて來るのでございます。

此點に於て、西洋では日本と反對になつて居るやうです。日本で幼稚園の始めて出來た頃は、萬事萬端西洋の模倣時代で、とにかく西洋に幼稚園といふものがあるから日本でもやつて見やうぢやないかといふやうな事で、たしか米國あたりをまねたものと思はれます。

西洋の幼稚園の始めは、小學校と同じく貧民の幼児教育所でありました。托兒所といふやうな性

質のもので、幼児が下層社會の悪影響を受けないやうにといふ目的で設立せられたものでした。それを、たゞ消極的に悪感化を受けないといふだけではいけないといふので、フレーベルが積極的に之を教育する事に着手したのであります。慈善的に貧民の子供を預つて、晝食をふるまひ、おやつを與へてその上に幼稚園の教育をしやうとしたのであります。托兒所といふのは名前がよくないと云ふので平民的幼稚園といふ名に改正したのでございます。

現今日本の政府では幼稚園のために別に金を出して之を奨励しやうとはしないでなりゆきに任せて居るやうである、上下共に家庭の責任を重んずるやうにつとめさせやうとして居るやうに見受けられる、西洋あたりでも、社會警醒者は頻に「家庭に歸れ」と云ふ事を云つて居る。工場などでも賃銀を増して、なるべく亭主だけはたらいで、妻君は家庭で子供の守りが出来るやうに、また、亭主

の労働時間も出来るだけ少くして、せめて夕方には家庭に歸つて子供の顔を見て楽しむやうにといふ風に社會政策をむけて居る。ベルリンなどでは全く貧乏人らしいものは見えません。衣服などちやんと整頓して居るので一寸見てはわからないのです。貧民窟なども高壯な建物の中にあるのですから、外からはどうしてなかく立派なものです中には可なりの貧民が住んで居るが、とにかく社會政策がさうした風にむけてあります。そしてまたそれが自慢なのです。

それで幼稚園の如きも明に托兒所の性質を帯びて居ります。其外夏だけ子供の世話をする處もある、労働の時間中だけ預る處もあります。其他、工場内に幼稚園を設けて、その職工の子供は必ずは入るといふ組織のものもあります。獨立した幼稚園では満二歳から四歳までの子供を預る處もあり、四歳から七歳までのを入れるのもあります。或は女學校に附屬させるのもあります。

英國あたりでは滿五年以上の子供のは入る幼稚園で小學校の準備教育を引き受けて居るのもあります。我國の慶應大學のやうに、高等中學校程度の學校に中學校小學校幼稚園など附屬して居るのもあります。是等の中には、中流以上の子供のは入るのもありますが、大體の上から云ふと、やはり貧民の子供を預る所、労働者の托兒所として利用してあります、また別に托兒所の設けもあつて、平民的幼稚園のやうにおやつ、御馳走になつて、遊んで、家に歸るといふのもあります。パリあたりの幼稚園は必ず兩親が朝送つて來て夕方つれて歸るやうになつて居て、明に托兒所の性質を持つて居ります。以上の如く歐洲では、幼稚園は労働者の爲めに、家庭でよく教育する事の出来ない貧民の子供の爲めに設立せられてあるといふ事は動かすべからざる原則のやうであります。日本の幼稚園とは由來を異にして居るやうであります。見やうによつては、日本の幼稚園はその基礎が甚

た薄弱であるといふ事も出来ると思ひます。必要に迫つて居る方面をなげやりにしてあまり必要のない處に力瘤を入れて居るのではないかと思はれる。

餘裕のある家庭で、子供を幼稚園に入れる結果主婦が家庭の義務をわすれるといふやうな事になりはしないであらうか、子供を幼稚園に入れた爲めに、主婦の最大切な務めである子供の教育を怠るといふやうな事があつては由々敷一大事であります。幼稚園は家庭教育の補充をなすに過ぎないといふ事を主婦たるものがよく承知して居なくてはならないと思ひます。西洋でさへ「ホームに歸れ」と叫んで居るのに、家庭本位の我國に於て、家庭が空虚になるやうな事があつてはそれこそ大變であります。

以上述べましたやうな次第でありますから、幼稚園教育にあづかつて居られる方ではよい家の子供ばかりなく、どうか可愛さうな労働者の子供を

も之を教育して、よくするといふやうな事を献身的にやつて見ていたゞきたいと御願ひいたすので御座います。研究の方から云つても、あらゆる方面を見るといふ事は大切であります、如何なる善良なる周圍が、如何なる善良なる感化を兒童に與へるか、また如何なる不良なる周圍が如何なる不良なる影響を及ぼすかといふやうな事を研究するのもおもしろい事であらうと思ひます。よく社會を研究して、社會の爲めに最大切なる最必要欠くべからざる補充機關として幼稚園の基礎を固くしたいものと存じます。

どうか日本でも中流以下の労働者や貧民の爲めに托兒所の性質を帯びた幼稚園が、ドン／＼設立せられん事を希望に堪へないので御座います。幼稚園はフーベルの昔に歸つて托兒所の性質をもつた平民的のものにしたいもので御座います。近來西洋では、いろ／＼の方面に幼稚園を設けて居る。看護婦の團體が慈善的に貧民の子供を集めて

之を教育して居るのもあります。此頃流行るモン  
テツソリー女史などもローマ貧民窟の子供を教育  
した経験がその教育主義の土臺になつて居るので

御座います。どうか日本でも此種の慈善的幼稚園  
の今後盛に建設せられん事を切望して居る次第で  
御座います。(筆記、文責在編者)

### ○編者より

○今年も本號を以て終ります、寄稿者諸君及び讀者諸君の本誌  
に對する一年間の厚き同情を深謝いたします。

○緊急御注意

本會主催全國幼稚園關係者大會の義につき、全  
國幼稚園の御贊同を得度く、先月廿五日迄に御返  
事願ふ趣、先般書面を以て御照會致しましたるに  
對して、未だ何等の御回答なき園がありますのは  
遺憾至極であります。何卒至急御贊同の御表明御  
一報下さるよう重ねて切望致します。

○一年間連載しましたフレイベル自傳も、いよ／＼第十二回を  
以て完了しました。御覽の通り、フレイベルの傳記としては未だ途  
中でありまして、殊に其の生涯の最も興味多い部分が澤山残つて  
居ます。しかし、自傳が茲で終つて居るのですから止むを得ませ  
ん。たゞフレイベルの一生に大關係を持つ幼時から、教育的經歷  
の大部分、乃至種々の場合、種々のことから其の人生觀を形づく  
つてゆく關係などが、フレイベル自身的一種特有な發表法によつ  
ても尠くないと信するのであります。兎に角、普通の讀みものと  
して餘り面白いものではありませんが、フレイベル研究に缺くべ  
からざる此の資料の日本譯を得たことは、斯界に對する多少の貢  
獻たることを信じて居る次第であります。因に本年内に完結の都  
合上本號分が非常に多くなりました。之れは御諒承を願ひます。